

地域密着型金融の取組み状況（平成21年4月～平成22年3月）

利根郡信用金庫

項目	タイトル	取組み内容	成果（効果）	
〔Ⅰ〕 地域密着型金融の 具体的取組み	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化			
	(1) 創業・新事業支援	創業・新事業案件の増加	平成17年4月中小企業金融公庫、国民生活金融公庫（現在の日本政策金融公庫）及び商工組合中央金庫と業務提携を締結以降、地域ベンチャー支援センター及び地方公共団体、沼田・渋川商工会議所等と地域事業者及び勤労者に対する情報交換を行い情報の共有化を図るとともに、制度融資等を利用して創業・新事業への支援を行いました。	平成21年度 創業・新事業支援融資実績 6件 74,450千円
	(2) 経営改善支援	経営改善支援の活動状況	経営相談室は、経営相談室主導先として15先の大口与信先を中心に支援活動を行ってきた。支援先企業を定期的に訪問することで経営者との信頼関係を構築し、実態把握を行いながら支援方法の検討を行っている。取組については、月次試算表の徴求により、収支状況・資金繰り等の把握を行い、経営上の問題点を抽出し、各支援先の実態に即した経営改善支援策の提案や経営改善計画書の策定支援を行い、また群馬県中小企業再生支援協議会の活用や外部専門家との連携を図りながら経営改善支援活動に取り組んでいる。 また、キャッシュフローの確保に重点を置いた改善指導や金融支援にも取組み、企業存続にも力をいれている。 平成20年度から設置した営業店支援担当者については、平成21年度支援先を43先選定し経営支援体制の強化と経営支援活動の拡充に取り組んできた。具体的活動内容は、経営相談室主導先と同様であるが、「経営相談活動営業店管理表」を作成し、その管理表に基づいた月報で経営相談室宛に月次報告を行い、これにより経営相談室が支援活動のサポート及び管理を行っている。	経営改善支援先のうち2先がランクアップに繋がった。
	(3) 事業再生支援	群馬県中小企業再生支援協議会の活用による事業計画書の策定支援	申込人は木材・木製品製造業を営んでいるが、平成18年頃より経営不振に陥り、当金庫はメインバンクとして金融支援を続けたが、売上減少に歯止めがかからなかった。 平成20年6月、群馬県中小企業再生支援協議会に相談を持ち込み、1次対応が始まる。協議会担当者と連携し、実態把握や不振に陥った要因の抽出、また改善が必要と思われる項目について提案等を続けた。平成20年12月、当金庫の債権についてリスケジュール及び金利の減免を行い資金繰りの安定を図った。また、同年同月に協議会の2次対応が決定し、平成21年1月に全債権者が出席した検討会議が開催され、再生の方向性を明確にした。同時に協議会より専門家の派遣を受け、財務及び事業デューデリジェンスにより不振原因の分析や事業再生の施策等の指導を受け、事業改善に向けた取組を開始した。 当金庫は、改善項目の進捗管理を中心にモニタリングや相談業務を継続し、平成22年1月に全債権者の同意と支援を受け、事業再生計画書の策定が完了した。併せて大幅なリスケジュールによる返済金の圧縮を行い資金繰りの安定を図った。 現在は、計画書に基づく月次の損益や資金繰りの管理だけでなく改善項目の進捗管理を徹底し、実態把握と改善効果について指導及び相談業務を継続して行っています。	地域中小企業の事業継続に貢献できた。 細部に亘る実態把握と的確な経営指導に役立った。

項目	タイトル	取組み内容	成果（効果）	
〔Ⅰ〕 地域密着型金融の具体的取組み	2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底			
	(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の取組み	調剤報酬債権譲渡担保	<p>申込人は、当金庫既往取引先で複数口の融資取引のある調剤薬局です。以前レセプトPCを購入した際に利用した医療機関向け融資の借換及び運転資金の相談を受け当金庫内において協議した結果、申込人の現状の業況・今後の成長を期待し、当金庫においても以前より推進している不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資として調剤報酬債権担保を申込人へ提案した。</p> <p>申込人は医療機関向けの融資を利用していた時にも、調剤報酬債権を担保として提供していた為、当金庫からの提案に快諾し実行に至る。</p> <p>なお、本件は、第三債務者に対し、債権譲渡通知を行い対抗要件具備とした。</p>	平成21年度 動産・債権譲渡担保融資実績 1件 23,000千円
	(2) 「目利き機能」の発揮に向けた取組み	「目利き能力」の向上、人材育成	<p>「目利き力」の向上を目的とした外部研修への積極的参加、自金庫において外部講師による研修、自金庫内における研修の開催を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部研修への参加 <ul style="list-style-type: none"> 「目利き力養成講座」 (県信協) 本店営業部係長1名 新治支店 係長1名 「目利き力実践講座」 (全信協) 審査部 係長1名 「融資審査・管理講座」 (関信協) (県信協) 西支店 代理1名 水上支店 係長1名 片品支店 主任1名 金庫内研修 <ul style="list-style-type: none"> 「企業分析講座」(審査部主催) 参加18名 審査トレーニー実施 1店舗1名 	「目利き力」の向上に繋がる研修等の受講機会は増加し、職員の基礎知識は確実に向上している。平成21年度金庫内研修「企業分析講座」において、優良企業と不良企業の決算書を比較分析し、その違いを確認するほか、資金繰り表を実際に作ってみるなど実践に役立つ研修ができた。また、日頃の顧客の実態把握の方法について意見交換の場を設け、熱心な議論を行うなど職員の意識向上に繋がった。
	3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献			
(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み	勉強会実施による情報提供・経営指導・相談	<p>株式会社タナベ経営と業務提携を行い「とねしん新世代経営塾」を平成20年度に開講し、平成21年度も引き続き勉強会を下記の内容にて3回実施した。</p> <p>6月17日「決算書を活かす～会社の数字応用編～」 9月 9日「見える化・5Sを使った経営体質改善講座」 11月19日「やる気にさせるコミュニケーション手法」</p> <p>勉強会の他に、経営に対する情報提供として、経営情報誌「実践着眼」・FAXレポートを月3回塾生に配付。</p>	経営コンサルタントとの情報交換を交え、意識改革や事業意欲の高揚、参加者同士の交流も図れたものと思われる。	
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供	小中学生卓球大会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 実施要項作成 後援依頼 会場確保 出場選手募集 大会実施 	平成21年11月7日、沼田市民体育館において、約300名の小中学生を集めて「第2回とねしん杯オープン卓球大会」を実施し、地域貢献が図れた。	